

令和元年度 学校評価 自己評価書

学校名

北海道新篠津高等養護学校

1 本年度の重点

- 変化の激しい時代に応じた、新しい「新篠津の学び」の創造の第一歩を
- 多様化、複雑化する課題へ、チームでチャレンジ・解決
- 保護者・地域・関係機関・教職員間の協働関係の強化

(1) 指導の重点

- ① 「指導と評価の一体化」を意識した学習指導の実施
- ② ICTを効果的に活用した授業の取り組み
- ③ 地域の資源を活用した体験的学習及び実践的、社会貢献的学習の推進
- ④ SNSに関する生徒間トラブルなど、生徒指導上の新たな問題に対する開発的・予防的アプローチの推進
- ⑤ 「個別の指導計画」、「個別の生活支援シート」に基づく、学習連携による指導・支援の推進

(2) 経営の重点

- ① 「教育課程」「授業(評価)」の改善に向けた全教職員の研修・研究活動の実施
- ② 組織業務の「意味・目的・価値」を問い直すことなどをおし、本校の実態に応じた働き方の仕組み作りのスタート
- ③ 大規模改修工事(Ⅱ期)、体育館改修工事の円滑かつ安全な推進管理
- ④ (2020年度に向けて)コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入検討
- ⑤ PTA(保護者)と学校課題の共有と解決策の検討の実施
- ⑥ 「新篠津村」をアピールできる教育活動、部活動等の推進
- ⑦ ホームページ、学校だより、校内掲示等による情報発信・内容の充実

2 自己評価結果

自己評価の達成状況や取組の適切さについて、職員・保護者・生徒のアンケート関連項目を併せて評価し、改善の方策を検討しました。

A(達成) B(おおむね達成) C(やや不十分) D(不十分)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	検討事項・改善の方策	各アンケート関連項目
学校経営	学校教育目標を達成するという視点で、学校経営方針(教育方針、経営方針、指導の重点、経営の重点等)が設定されている。	A	A	学校教育目標を達成するという視点で学校経営方針が設定されています。今後も教職員がチームとして学校経営へ積極的に参画するよう心掛けるとともに、適切な方策を検討します。	教1
	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っている。	A	A		
	情報共有と信頼・協力を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画する意識をもち、効率的で効果的な業務を推進している。	B	B		教3
教育課程	新学習指導要領を踏まえた教育課程の改善への取り組みが進められている。	B	B	教育活動についてこれまでの良さを生かしつつ、新学習指導要領に基づいた教育課程の改善に努めます。	教4
個別の計画等	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」及び「個別の生活支援シート」は、保護者や関係機関との連携のもと策定し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。	B	B	「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」、「個別の生活支援シート」を有効に活用し、本人や保護者のニーズを大切に、教育活動の推進に努めます。	教5 保3
授業改善	地域資源を活用した体験的な学習や実践的、社会貢献的学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進められている。	B	B	ICT機器を導入した授業を積極的に進め、効果的な学習活動の推進に努めます。また、多様化する生徒への、効果的な学習を進めるために、生徒一人一人に応じた学習指導や地域資源を活用した実践的な学習などの授業改善に努めます。	教6 保4
学習指導	生徒一人一人の障がいの状態や適正を踏まえ、生活に結び付いた知識、技能、態度について实际的に指導し、生徒の生活する力を高めている。	B	B		教7 保1
	生徒一人一人の能力や適正に着目した指導を通して働く意欲を培い、将来の職業生活や職業自立に必要な知識、技能、態度について総合的に指導し、生徒の働く力を高めている。	A	A		教8 保2
寄宿舎指導	生徒一人一人の障がいの状態や特性に即した指導内容や方法を工夫し、基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるよう指導が行われている。	A	A	今後も生活に必要な指導の観点について、共通理解を図り、効果的な寄宿舎の生活指導に努めます。	教9 保9
行事・余暇	生徒の実態や地域の特色など生かした学校行事や、寄宿舎の活動を実施している。	A	A	行事の在り方を見直し、効果的な教育活動を行うことができるよう、行事等の整理と精選に努めます。	教10 保10
通知票等	「通知表」及び「個別の生活支援シート」は、学習内容、生徒の様子、指導の手立て及び指導の成果や課題について、保護者に分かりやすく記入されている。	B	B	学習内容や指導の成果、課題などについて分かりやすく伝えるよう心掛けるとともに、目標設定や学習評価について効果的な研修に努めます。	教11 保5

生徒指導	生徒理解と信頼関係の構築に努め、生徒一人一人の良さや個性を生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。	B	B	生徒の個性や障がい特性などの把握に努め、いろいろな行動の課題について組織的に対応に当たるよう努めます。 ネット、スマホ、SNSなどに関わるトラブルが増えてきている現状を踏まえ、利用におけるモラル、マナーなどを指導するとともに、実践的な指導を行うよう研修を深めます。	教12、13 保6
	生徒の生命・健康・安全を守るため、生徒の状況を共有し、生徒指導上の問題に適切に対処するための体制が整備され機能している。	B	B		
健康・安全指導	自他の命や、体を大切にする態度及び知識を養う指導の取組が適切に行われている。	A	A	健康・安全指導について、生徒が正しく理解し対応できるよう指導に努めます。 災害等非常時を想定した訓練を重ね、迅速に対応できるよう努めます。 危機管理マニュアルについて研修を行い、非常時に迅速に対応できるよう、日頃から備えます。	教14 保8
	危機管理体制が整えられ、日常的な施設設備の安全点検や安全指導が適切に行われている。	B	A		教15 保8
進路指導	生徒一人一人が自己理解を深め、進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を生徒及び保護者に対して十分に提供している。	B	C	生徒が主体的な進路選択ができるよう、分かりやすい進路指導や保護者への情報提供などに努めます。	教16 保7
情報発信	学校の教育方針や教育活動、寄宿舎の生活などについて地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っている。	A	B	今後も本校の教育活動について、適切で効果的な情報発信に努めます。	教17 保11、13
センター的機能	教育相談や地域の小・中学校及び高等学校等への支援、地域、関係機関等との連携、協力など、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	B	A	入学希望者や地域の小・中学校及び高等学校等に対して、適切な教育相談が行われ、関係機関と連携した支援が行われています。	教18
教職員	教職員一人一人が教育公務員としての自覚を常にもち、服務規律の遵守や体罰の防止、交通違反や事故の防止に努めている。	A	A	今後も教育公務員としての自覚をもち、服務規律の徹底を図ります。 常に生徒の人権を尊重し、教職員としてふさわしい服装や言葉遣いを心掛け、指導に当たります。 専門性の向上を図るため、積極的な研修への参加を進めます。	教19 保15
	教職員は、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いなどで教育活動を行っている。	B	B		教20
	校内外の研修を積極的に活用し、実践的指導力や専門性向上に努めている。	B	C		教21
PTA活動	保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動となっている。	A	A	PTA活動や研修について教員が参加しやすい方向性を検討し、保護者と協働で業務を進めることができるよう、工夫に努めます。	教22 保16

令和元年度「学校評価」教職員が行う評価票

◇ 各評価項目について、ABCDの4段階で評価をしてください。(○印及び✓などを記入してください)

A:十分(適切)である B:おおむね十分(適切)である C:やや不十分である(やや不適切である) D:適切でない、改善を要する(Dの場合は、その理由や改善策を記入してください)

区分	No.	評価項目	評価の観点(指標)	評価欄				
				A	B	C	D	なし
学校経営	1	学校教育目標を達成するという視点で、学校経営方針(教育方針、経営方針、指導の重点、経営の重点等)が設定されている。	学校経営方針	40.7	57.4	0	0	1.85
	2	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っている。	経営の方針・経営の重点	46.3	50.9	0.93	0.93	0.93
	3	情報共有と信頼・協力を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画する意識をもち、効率的で効果的な業務を推進している。	各組織間の連携、学舎連携 予算の執行等	20.37	62.96	13.89	1.85	0.93
教育課程	4	新学習指導要領を踏まえた教育課程の改善への取り組みが進められている。	年間授業時数、教科等を合わせた 指導、各教科等の指導、校内研究 等	16.7	66.7	13	0	3.7
個別の指導計画 個別の生活支援シート等	5	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」及び「個別の生活支援シート」は、保護者や関係機関との連携のもと策定し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。	長期目標・重点目標・各教科 等の目標の設定と評価等	18.5	72.2	8.33	0	0.93
授業改善	6	地域資源を活用した体験的な学習や実践的、社会貢献的学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進められている。	ICTの活用 体験的学習 実践的、社会貢献的学習の推進	22.2	67.6	6.48	0	3.7
学習指導 (各教科等) (生活単元学習) (総合的な学習の時間)	7	生徒一人一人の障がいの状態や適正を踏まえ、生活に結び付いた知識、技能、態度について実際に指導し、生徒の生活する力を高めている。	各教科等の年間指導計画、 基礎基本の定着、生活に結び 付いた授業実践、教材の工夫、 情報機器の活用等	18.5	70.4	8.33	0	2.78
学習指導 (作業学習)	8	生徒一人一人の能力や適正に着目した指導を通して働く意欲を培い、将来の職業生活や職業自立に必要な知識、技能、態度について総合的に指導し、生徒の働く力を高めている。	各学科の年間指導計画、職業 生活・職業自立に結び付いた 授業実践、教材の工夫、キャ リア教育全体計画等	21.3	73.1	2.78	0	2.78
寄宿舎指導	9	生徒一人一人の障がいの状態や特性に即した指導内容や方法を工夫し、基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるよう指導が行われている。	寄宿舎生活全般における指導 の工夫、基本的な生活習慣を高 める指導等	19.4	73.1	4.63	0	2.78
学校行事・余暇活動	10	生徒の実態や地域の特色など生かした学校行事や、寄宿舎の活動を実施している。	学校行事の計画、寄宿舎の余 暇活動等	24.1	72.2	2.78	0	0.93
通知表(学校) 個別の生活支援シート (寄宿舎)	11	「通知表」及び「個別の生活支援シート」は、学習内容、生徒の様子、指導の手立て及び指導の成果や課題について、保護者に分かりやすく記入されている。	適切な目標設定、目標に正対 する評価内容の記述等	19.4	62	14.8	0.93	2.78
生徒指導	12	生徒理解と信頼関係の構築に努め、生徒一人一人の良さや個性を生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。	生徒理解、適切な指導と必要な 支援	25.9	68.5	3.7	0	1.85
	13	生徒の生命・健康・安全を守るため、生徒の状況を共有し、生徒指導上の問題に適切に対処するための体制が整備され機能している。	生徒指導連絡会、保護者との 連携、ケース会議等	24.1	69.4	2.78	1.85	1.85
健康・安全指導	14	自他の命や、体を大切にできる態度及び知識を養う指導の取組が適切に行われている。	LHR、保健室経営、校内 救急体制、家庭や関係機関 との連携、寄宿舎指導等	22.2	73.1	2.78	0	1.85
	15	危機管理体制が整えられ、日常的な施設設備の安全点検や安全指導が適切に行われている。	避難訓練等安全指導、危機 管理マニュアルの活用等	23.1	66.7	6.48	1.85	1.85
進路指導	16	生徒一人一人が自己理解を深め、進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を生徒及び保護者に対して十分に提供している。	進路指導全般、LHR・作業 学習及びキャリア学習等の 充実等	27.8	59.3	6.48	1.85	4.63
情報発信	17	学校の教育方針や教育活動、寄宿舎の生活などについて地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っている。	保護者懇談会、HP、学校だ より、オープンスクール、 学校公開、校内掲示等	28.7	67.6	1.85	0	1.85
センター的機能	18	教育相談や地域の小・中学校及び高等学校等への支援、地域、関係機関等との連携、協力など、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	教育相談、地域等への支援、 情報提供等	34.3	59.3	1.85	0	4.63
服務規律	19	教職員一人一人が教育公務員としての自覚を常にもち、服務規律の遵守や体罰の防止、交通違反や事故の防止に努めている。	自己研鑽、法令遵守等	35.2	59.3	4.63	0	0.93
教職員の姿勢	20	教職員は、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いなどで教育活動を行っている。	教職員の適切な言動や態度等	15.7	68.5	14.8	0	0.93
研究・研修 自己研鑽	21	校内外の研修を積極的に活用し、実践的指導力や専門性向上に努めている。	研究計画、校内研修の推進、 校外研修旅費の活用等	11.1	67.6	19.4	0	1.85
P T A 活動	22	保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動となっている。	P T A 事業計画、学級レク、 保護者及び教職員の参加等	15.7	78.7	4.63	0	0.93

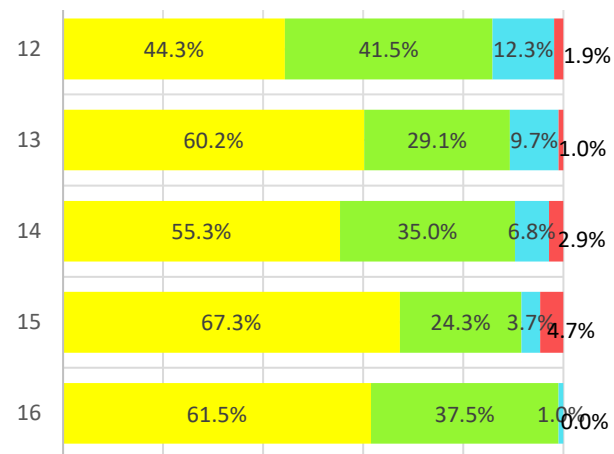
評価尺度	A(1):十分 B(2):やや十分 C(3):やや不十分
	D(4):不十分 E(5):分からない

※回収率	107/132名	81.0%
------	----------	-------

No.	評価項目	A (1)	B (2)	C (3)	D (4)	? (5)	総数	Aの割合	A+B	評定
1	学校は、生徒一人一人の障がいの状態や特性を踏まえ、生徒が見通しや意欲がもてる指導(授業)が行われていると思いますか。	54	45	6	1	1	107	50.9%	93.4%	3.43
2	学校は、生徒一人一人の能力や適性に着目した指導を通じて働く意欲を培い、働く力を高めていますか。	55	45	4	1	2	107	52.4%	95.2%	3.47
3	生徒の課題や目標などについて、保護者と担任及び室担とで共通理解が図られていますか。	56	45	5	1	0	107	52.3%	94.4%	3.46
4	学校は、地域資源を活用した体験的な学習や、コンピュータやタブレットなどの、情報教育に関する学習を適切に行っていると思いますか。	59	34	6	0	8	107	59.6%	93.9%	3.54
5	学校や寄宿舎は、生徒の良い点を評価し、生徒の様子や指導の手立て、成果や課題などを分かりやすく伝えていると思いますか。	55	45	5	0	0	105	52.4%	95.2%	3.48
6	学校は、学年や発達段階に応じた生徒指導(いじめ防止・男女交際・身だしなみの指導など)を適切に行っていると思いますか。	60	36	8	1	2	107	57.1%	91.4%	3.48
7	学校は、生徒や保護者に対して進路を主体的に選択できるような進路指導を行うとともに、進路選択に必要な情報を提供していますか。	57	37	12	0	1	107	53.8%	88.7%	3.42
8	学校は、危機意識をもち、事故防止や安全指導に努めていると思いますか。	69	33	1	1	3	107	66.3%	98.1%	3.63
9	寄宿舎は、基本的な生活習慣や社会性が身に付く指導を、適切に行っていると思いますか。	66	31	4	0	1	102	65.3%	96.0%	3.61
10	学校や寄宿舎は、生徒の実態や地域の特色を生かした学校行事や、卒業後の生活につながるような余暇の指導を行っていると思いますか。	58	38	3	0	2	101	58.6%	97.0%	3.56
11	寄宿舎での生活の様子が、保護者に伝わるようになってきていると思いますか。	61	32	7	1	1	102	60.4%	92.1%	3.51



12	各種事務手続きは、分かりやすく説明していると思いますか。	47	44	13	2	1	107	44.3%	85.8%	3.28
13	学校は、学校だよりや学級通信、ホームページなどを通して、教育活動を十分に説明していると思いますか。	62	30	10	1	3	106	60.2%	89.3%	3.49
14	学校は、保護者との相談の中で、生徒指導や進路等の課題について、関係機関との連携を図りながら適切に行っていると思いますか。	57	36	7	3	4	107	55.3%	90.3%	3.43
15	教職員は、ふさわしい服装や身だしなみ、言葉遣いが行われていると思いますか。	72	26	4	5	0	107	67.3%	91.6%	3.54
16	PTA活動は、保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、充実した活動になっていると思いますか。	64	39	1	0	3	107	61.5%	99.0%	3.61



○意見等自由記述

【1学年】

- ・通学生も寄宿舎のイベントに参加できるようにしたらどうですか。
- ・通学生でいろいろな事情で学校から新篠津のバス停まで一人で下校する時など、人通りが少ないので心配になります。
- ・先生方がいろいろな指導をしてきていても、その時によって子どもたちがそれを素直に聞き入れてもらえないこともあるのかなと思います。一人一人違うと思うけど。生徒一人一人違うと先生方も大変だと思います。寄宿舎生活から解放される週末が最近大変です。どうしたらいいのでしょうか？ 前よりわがままになっています。
- ・ホームページでももう少し情報を見られるようにしてほしいと思います。古い情報で止まっているものがあったり、全く見られないものもあり不便です。
- ・先生方には本当に子どもたちを見てくださり、安心して学校にあすけられます。
- ・大変親身になり指導してくださり、ありがたく思っています。今後もよろしく願います。

【2学年】

- ・11について: 単独帰省なので仕方がないのかなと思っています。16について: いつもありがとうございます。
- ・国語と数学は子どものレベルに合わせてもう少し難しくしてほしいです。できなくても考えることも必要なもので、何とかお願いできればうれしいです。
- ・事務手続きにことだけでなく、保護者は1年生の時は特に何でも(行事等も)初めてで、全く分からないことだらけの中、難しいなあ(どうしたらいいのかなあ)と思いつつこなしています。先生達は何度も同じことを言うのは大変かと思いますが、もう少し分かりやすくしてくれたらと思います。
- ・生徒に指導した内容を、分かりやすく情報としてタイムリーに伝えてほしい。・家庭で協力できること、改善すべきことなども伝えていただけると助かります。(就労に向けて)
- ・学校と寄宿舎との情報の共有がされているのか伝わってきません。(共有されることを期待します。)
- ・学校での様子をもう少し細かく教えていただき、できていないところを今後の課題として、そこを目標に就労に向けて更に指導してほしい。
- ・寄宿舎では送迎をしているので何かあれば親もすぐに相談ができる環境なので安心ができ、とても心強いです。
- ・クラスの状態がよく分からない。個人の状態が担任からの連絡が少なすぎてよく分からない。

【3学年】

- ・現場実習など、自立に向けていろいろ指導してくれて助かります。卒業までしっかりと身に付けていけたらいいと思います。
- ・ホームページにたくさん活動や生活を載せてほしい。
- ・生徒が問題を起こした時、携帯の内容を全て見せるというのが疑問に思った。犯罪者扱いされていると感じたことがあった。
- ・特にありませんが、強いて言うなら事務の方の上から目線の言葉が感じられましたので気を付けてほしいです。
- ・先生方は業務がご多忙な中、学習も部活動にも力を入れて御指導くださっていることに心から感謝しております。先生方に元気で教育活動していただくためにも少しでも簡素化できる業務があればしていただきたいです。

結果

- ・Aの割合が60%を超えている項目 No.8、9、11、13、15、16
- ・A+Bの割合が95%を超えている項目 No.2、5、8、9、10、16
- ・A+Bの割合が90%以下の項目 No.7、12、13
- ・Dに複数の回答あった項目 No.12、14、15 特にNo.15は、5人がD評価であった。

考察

- ・生徒の個性に着目した指導や、良い点を積極的に評価していることについて高く評価されている。
- ・教育活動や進路選択のための情報、事務手続きなどの情報発信や提供について、評価が高くないため、たよりや通信、ホームページなどを活用し、積極的に情報発信や提供が必要である。
- ・事故防止や安全指導など危機意識について、高く評価されている。今後も継続して非常時への対応に取り組んでいく。
- ・寄宿舎での生活習慣や社会性への指導が適切であると評価されている。継続した指導と支援が大切である。
- ・PTA活動について保護者と教職員との連携、協力の評価が高い。取り組みを今後も継続し、充実した活動に向けて推進する必要がある。
- ・教職員として、ふさわしい服装や身だしなみ、言葉遣いについてA評価が最も多い反面、D評価も最も多い。引き続き服装や言動について、生徒の手本となるよう、教育公務員としての高い倫理意識や人権意識をもって職務に臨むことが大切である。

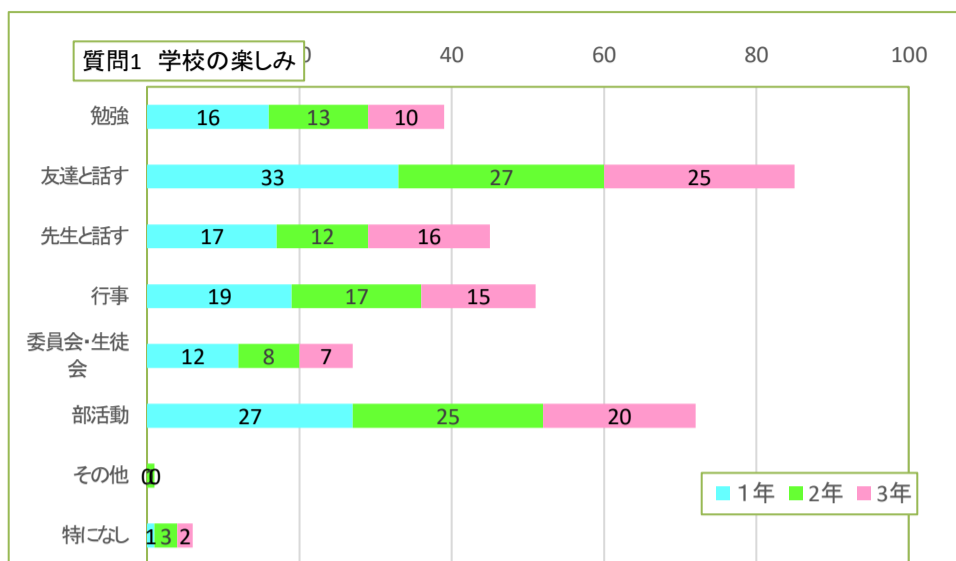
令和元年度 学校評価 生徒アンケート

提出率 1年 41/48 85.4% 2年 36/46 78.3% 3年 31/38 81.6% 全体 108/132 81.8%

質問1: 学校生活で楽しいことは何ですか

	1年	2年	3年	合計	順
勉強	16	13	10	39	5
友達と話す	33	27	25	85	1
先生と話す	17	12	16	45	4
行事	19	17	15	51	3
委員会・生徒会	12	8	7	27	6
部活動	27	25	20	72	2
その他	0	1	0	1	8
特になし	1	3	2	6	7

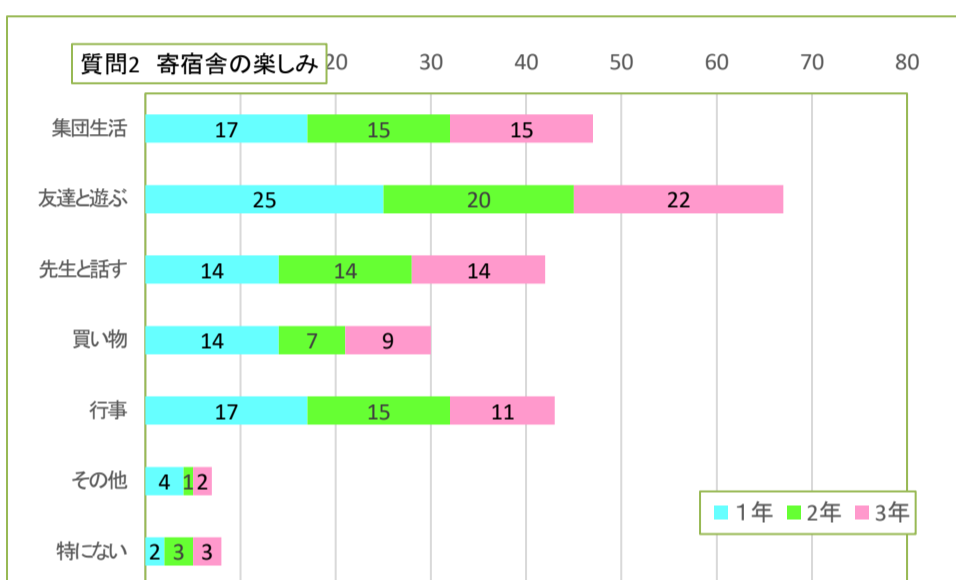
【今後の対応】
・昨年度に比べ、友達との話し、部活動や学校行事に対する満足度が高くなっています。引き続き、生徒間の良好な対人関係、自己肯定感を感じられる教育活動の推進に努めます。



質問2: 寄宿舎生活で楽しいことは何ですか。

	1年	2年	3年	合計	順
集団生活	17	15	15	47	2
友達と遊ぶ	25	20	22	67	1
先生と話す	14	14	14	42	4
買い物	14	7	9	30	5
行事	17	15	11	43	3
その他	4	1	2	7	7
特になし	2	3	3	8	6

【今後の対応】
・質問1の学校生活と同様の傾向でした。



質問3: 学校の先生(寄宿舎の先生)は、丁寧な言葉や態度で接していますか?

	1年	2年	3年	合計
学校の先生 <はい>	36	32	28	96
学校の先生 <いいえ>	2	4	2	8
学校の先生 <無回答>	3	0	1	4
※<はいの割合>	94.7%	88.9%	93.3%	92.3%
寄宿舎の先生 <はい>	30	29	29	88
寄宿舎の先生 <いいえ>	4	3	1	8
寄宿舎の先生 <無回答>	2	1	0	3
※<はいの割合>	88.2%	90.6%	96.7%	91.7%

【今後の対応】
・学校、寄宿舎ともに全体的に職員の言動は丁寧であると評価されていますが、「いいえ」や「無回答」をつけているケースもありますので、今後も教職員の日々の言動を生徒の見本となるよう努めていきます。

※ (はいの数)/(はい+いいえの数)
無回答は母数から除く

質問4: 困ったことがあるときは誰に相談しますか。

	1年	2年	3年	合計	順
親	33	26	27	86	1
友達	24	22	23	69	3
学校の先生	27	22	22	71	2
寄宿舎の先生	26	24	19	69	3
その他	2	1	0	3	5
いない	0	1	0	1	6

【今後の対応】
・引き続き生徒との良好な人間関係の形成に努め、生徒が困ったことや悩みを打ち明けやすい環境を整えていきます。

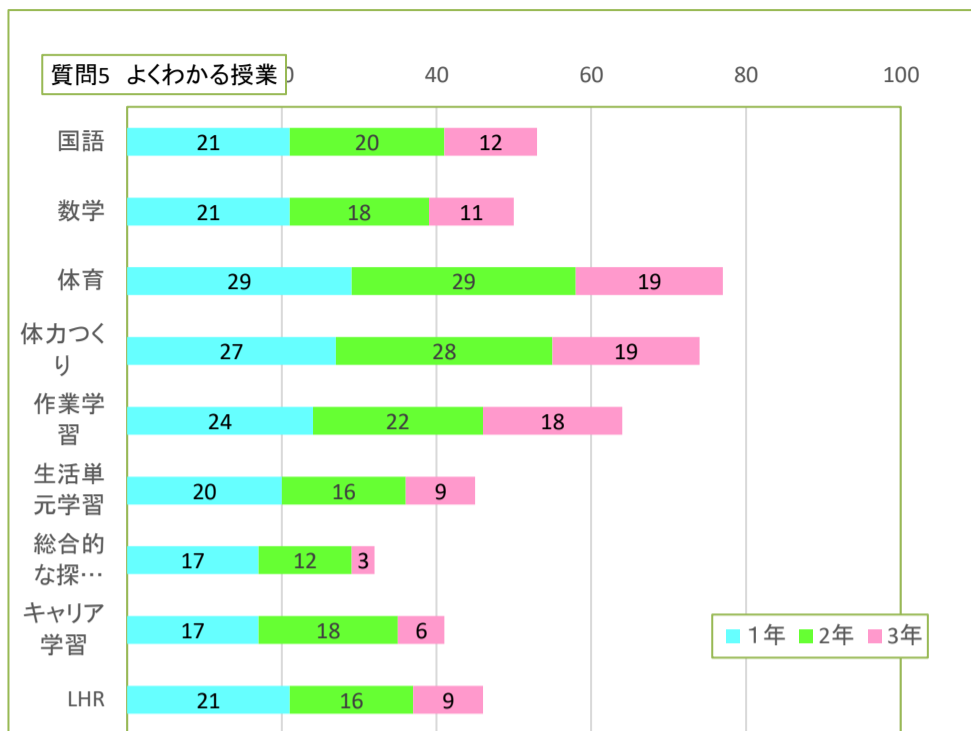


質問5:よくわかる授業は何ですか。

	1年	2年	3年	合計	順
国語	21	20	12	53	4
数学	21	18	11	50	5
体育	29	29	19	77	1
体力づくり	27	28	19	74	2
作業学習	24	22	18	64	3
生活単元学習	20	16	9	45	7
総合的な探求の時間	17	12	3	32	9
キャリア学習	17	18	6	41	8
LHR	21	16	9	46	6
※情報(1年生のみ)	20			20	
※音楽(2、3年生のみ)		20	11	31	
※美術(1、3年生のみ)	20		15	35	

【今後の対応】

・教科間の差異に昨年度と同じ傾向が見られますので、よくわかる授業づくりに引き続き努めます。



質問6:あなたにとって分かりやすい授業とは、どのようなものですか。

	1年	2年	3年	合計	順
説明の工夫	23	22	14	59	1
発言しやすさ	11	13	14	38	6
板書の工夫	18	19	13	50	4
分かるまで	23	20	13	56	2
話し合い活動	19	10	14	43	5
PC・TV・タブレットの使用	24	17	14	55	3
その他	0	0	0	0	7

【今後の対応】

・昨年度に比べて、PC・TV・タブレットの使用が高く、今年度導入したiPadが有効と考えられます。職員が研修をとおして、有効的な活用方法を共通理解し、ICT教育の推進を進めていきます。

